

【議事の経過】

(開議 13時 30分)

江角委員長

それでは時間になりましたので、第8回議会改革推進特別委員会を開催いたします。今日は大きく言って二つですが、前回の視察を行った報告書を出していただいていますので、若干説明を受けながら、中でも今後検討した方が良いものについても含めて、少し意見交換をしておきたいと思います。

二つ目は、特別委員会が発足して随分経ったので、どれがどこまで進んだかというのが頭に残りにくくなっていますので、事務局に一覧表を作ってもらっていますので、これも踏まえて今後の取組みの検討項目等について議論したいと思います。

早朝から産業建設委員会の調査会もされていますので、今日は極力短めにと考えていますので、ご協力をお願いします。

それから森谷議員から、今日議論できるか分かりませんが、メモが出されています。委員会・議会の動画のアップについて出されていますので、これも改革項目になるのか進捗状況を踏まえた中で議論できれば、取扱い方も議論したいと思いますのでよろしくお願いします。

1. 視察報告(明石市・西脇市)及び視察の結果を踏まえて

江角委員長

議題1について。明石・西脇市に行ってきましたが、どうでしょうか。作成していただいた委員から少し要点を言ってもらって全体で確認できれば共通の報告書にしたいと思います。それで良いですね。では説明願います。

平石副委員長

それでは明石を担当したので報告させていただきます。

(以下、資料をもとに報告)

江角委員長

では岡本委員からお願いします。

岡本委員

私は西脇市の調査事項について報告させていただきます。

(以下、資料をもとに報告)

江角委員長

皆さんの方で少し感想等も含めてあれば出してもらって、どうしても補強したい点があれば、皆さんに出していただきたいですがいかがですか。また追ってこれを議題にして議論することにはならないと思いますが、いずれにしても方向性、やるかやらないかを含めて決めますので。またこの報告書等、視察で学んだことを参考にさせていただきたいと思います。

あと事務局で、こちらの検討項目にしてなかったことも含めて視察した部分があったり、また報告等で主旨とは違うものがあるって、この委員会で議論した方が良いものを、もし感想で持っているなら。

小川次長

興味を持っていた議場開放の部分は、できればこの検討課題に挙げていただいて、ちょっと前向きな方向で。議員さんに負担がかかるとは思いますが、前向きな方向で考えられたら良いのではないかなというのは、非常に感じました。

江角委員長

市民の人に自由に使ってもらおうという開放ではなくて、議会の主催で議場を開放する。講演会をやったりというような取組みだったかな。また検

小川次長 討項目に入れて…これも検討項目になかったですかね。
江角委員長 議場開放は検討項目に入っていないです。
項目に入れるということでよろしいでしょうか。
(「はい」という声あり)
今日は議論は省略したいと思いますが。追ってまたこの件について議論したいと思います。他に何か、そういった面も含めて感想があれば出してください。

小川次長 ではこれで、後はちょっと見せてもらって。誤字もあつたりしたので、もうちょっと直させていただいて、正式な報告書としてホームページへアップさせてもらう形にしたいと思います。

江角委員長 ということでよろしいですね。
(「はい」という声あり)
はい、ありがとうございます。

2. 改革項目のこれまでの進捗状況と今後の取組項目について

小川次長 議題2について、一覧表を作っていますので、中間整理ではないですがお互いに腹入れするという意味で、事務局から少し説明をしていただきたいと思います。

江角委員長 ではちょっと時間をいただいて1つずつ確認していきたいと思います。
(以下、資料をもとに説明)

牛尾昭委員 はい。では表の方は前議会からの申送りがあつたもので整理できたものやまだ議論できてないものということで、少し見解も含めて事務局から報告がありました。前回の時の記憶が薄いのですが、途中から議員定数の議論に行っているの、各会派から出していただいた検討項目は全て挙がっておりますので、精査して検討しようということで挙がっているものではありません。今回も同じですが会派から出してもらったものを載せて、それを検討するかしないかも含めて議論することになっていますので。表の方は前回からの申送り、裏面が議運の方、それから新たに出された検討項目ということで、1つ1つご報告いただきました。

全体を通してこれはどうかということも含めてご意見があればうかがって、今後の議会基本条例の見直しもしないといけないので、どこから今後議論していくかということについては、事務局と正副とでも意見を交わしていません。皆さんの意見を聞いて今後の議論の進め方を、今日中間的なものを出してもらって、議論しようということで入れていますので、お願いします。何か全体を通して1つ1つのところで、何かあれば出していきたいと思います。牛尾昭委員。

牛尾昭委員 最初のページの方で2つあるのですが、政策提案条例作成の検討というのは、正確には記憶してないのですが、議員提案条例が少ないということで、条例提案には政策勉強会とか、もしくは専門委員会を作ってやろうということが前段であつたのかなとうっすら記憶しています。いま次長が言うように独立委員会を作ってやるようなものではないが、任期が4年あるとすれば何問か議員提案条例を、まあ必要な提案条例ですよ、仕掛けるよ

うな勉強会もしくは専門委員会等があっても良いのではないかなと思っ
て多分これが挙がっていると思うのですが、それについて正確に記憶して
ないので、先ほどの次長の説明だとそうだとは思いますが、そうでない視点
もあるのではないかなという記憶があったもので。正確に覚えてないから
もう1回確認しておきたいと思います。

それから13番、政務活動費の使途のチェック体制。これは先んじて色
んなことをしていますが。その当時の宿題は、第三者機関のチェックの必
要性。これは金額が少なくても透明度が高いといえども、ではそれが第三者
機関によってチェックされていますかというのがポイントなので。平たく
言うと、これがあるのとないのとでポイントが違うわけです。それはどう
でも良いことだけど、でもやっぱりそれはそれで、例えば浜田市の監査委
員、代表監査委員もおられるわけですから、年に1回ぐらいこれに目を通
してもらおうとか、そういうことも必要なのではないかなという。外向き
に対してやっているやっていないという議論をされた時に、実際やってない
わけですから。やってないことで議会の評価が下がるのは残念だと思うの
で、これは検討すべきことではないかなと。その2点が気になったので申
し上げます。

江角委員長
牛尾昭委員
小川次長

多分牛尾昭委員が出されて記憶に残っているのではないかと思います。
ああそうですか。

政策提案条例の作成の検討については、こういう特別委員会だとか勉強
会だとかあるので、一番良いのはせつかく制度を作った政策討論
会です。政策討論会の制度を作っているの、こういう政策条例を作りた
いなどと思ったら、できれば政策討論会幹事会に諮ってもらって上に挙げて
皆さんで揉んでいって、委員総意で条例を作っていくという形が。討論会
の、何もできてなければ別ですが途中でその制度を作りましたから、そち
らの方で載せてもらえれば嬉しいなという気はしています。

それから確かに、政務活動費のチェック体制については言われるとおり、
確かにそこで点数が上がるか上がらないかというのはあります。今の評価、
全国的に第三者機関でチェックをしている所が少ないというのも僕ら目
にしていますので、金額的にも10万円だし領収書まで全部オープンにし
ていると市民の目がチェック機関になっているかなという思いもあつて
言ったのですが、確かに3月までに出してもらって、まだ監査が忙しくな
る前に目を通してもらおうぐらいの願いはできるかなという気はしてい
ます。ちょっと1回監査の方と話をしてみないといけません。皆さんが
その方が良いという話になれば、その辺の話はさせてもらう余地はあると
思います。

江角委員長
牛尾昭委員

牛尾昭委員。

いまの話は監査以外の方に例えばお願いすると、コストがかかるような
気がして。税理士とか専門家に頼むとコストがかかるので、代表監査なら
監査委員の講習を受けておられるので、やっていただける可能性が高いの
かなと思って。僕の考え方ですが。

小川次長

これもちょっと皆さんに議論してもらって。

江角委員長　この点はちょっと議論しておきますか。どうするかということについて、いま言われるように、1回監査の方で可能かどうか、やってもらいたいということも含めて聞いてみてもらうということによろしいでしょうか。

（ 「はい」という声あり ）

小川次長　皆さんが、第三者機関のチェックは必要だという認識があるということが良いということですね。

江角委員長　よろしいですか。

（ 「はい」という声あり ）

はい。ではそういうことで。これが前回のところなのですが、いま言われた条例提案ですね、全国的に少ないということが最近また取り上げられています。先ほど言われるように政策討論会だったか、条例上は。ここでの活用をしっかりとやるのが課題なのだろうなと思います。なかなか手順が、どこから上がってきたものをどこへ持っていくのか。議運なのか、各委員会から上がってきたもの、会派から上がったものをやるのか。

小川次長　政策討論会は個人からでも会派からでも、どこから上がってきても受けられます。

江角委員長　議運で1回議論することになっているの。

小川次長　いえいえ、政策討論会の幹事会でこれを議論しても良いかどうか、こんなものを議論しても仕方ないじゃないと蹴られたら政策討論会には入れませんが、良いんじゃないかこれ是非皆でやろうとなったら、政策討論会に上がりますので。そうすれば議員さん皆でああでもないこうでもない議論できますので。せっかく作っているの。

江角委員長　体制が出来ていますので、そこを活用する…牛尾昭委員。

牛尾昭委員　余談ですが浜田の酒蔵がどんどんなくなっていくのです。変な話。乾杯条例って僕は無理してしなくても良いと思ったのだけど、ここまで酒蔵が減ってくると、浜田の酒蔵を守るために、あまり気にしてこなかったけど、江津浜田を見ても酒蔵が1つしかなくなるという現状でいけば、そういう仕掛けも必要なのだろうなと。あちこちやっておられるので今更という感じがするけど、そういうこともあったりしまして。余談ですみません。

江角委員長　また事務局通じて提案してください。

牛尾昭委員　はい。

江角委員長　では、前期のところでは置きたいと思いますが、今期のところで気がついた点、もしくはもう少しこうだったのではということはありませんか。

小川次長　前議会からの番号3と、具体的な検討を申し送られたIT化、これは共通しているのかな。検討状況の部分が同じだけ。

小川次長　どちらかと言うと、前回からの申し送りの3番と、新たに会派から委員会へ出された分の3番と、具体的検討を申し送られた1番と、全部被っていたら、具体的検討を申し送られたIT化の推進というのはタブレットの関係なのです。あとの3-3と1-3はどちらかと言えば、インターネット配信とかオンデマンド配信の関係だと思うので。

江角委員長　それでこの件は議論してきた中で、経費がかかるということもあるのだが、きちんとやってもらうようにまずきちんと話をいこうではないかとい

うのが結論だったのではないかと思うのだけど、それはなかなか当面難しいのなら、書いてあるように森谷議員から出してもらっているようなことも含めて、駄目だったら手を当てられるところからやっというような結論だったと思うのだけでも。一番基本のところは当局側に伝わっているのかどうか。

小川次長

まずは動画配信のライブ中継も含めてのカメラを全部変えて、先ほど言った分にして欲しいというのは、去年のサマーレビューで予算を出して、音響設備と合わせて 3000 万円近くの予算を出して、一応話は聞いてもらいました。11 月の予算要求の時にも同じくらいの金額で予算要求して、財政ヒアリングをして、最終的に市長ヒアリングまで上がりました。そこで、やるんだったらこういうふうにするべきだと、だいぶ一生懸命訴えましたが、まだ県内でもやっている所が少ないと。他の所が皆こんなふうになっているならやらなければいけないかもしれないが、今は音響だけで勘弁してくれということで、今回音響だけ、とりあえず直させてもらうことにしました。こういう思いがあるというのは知っているはずで。とりあえずサマーレビューから予算要求までずっと話をしていますから。

江角委員長

それで今回、来年度に向けてそれを更に議長団も含めて強く言ってもらってやるのか、なかなか難しいという判断でできるところからということにこの委員会でも議論を尽くしていくのか。この辺の見極めをはっきり…。

小川次長

それはどちらかと言えば、もう 1 回今年の予算要求で、議会としてはやるべきだという総意だったということで、インターネット中継用カメラの設置の予算要求をまた出してみてもいい。一生懸命話をしても、もしあれだったら議長さんから市長に話をしてもらって、議会の総意として今からこういうことをやりたいのだということをもう 1 回言ってもらって、予算がつけばもうこの簡単な分はしなくて、来年度で設置してしまう。もし要求したのだけど今の予算ちょっと…議会は全部単費ですから、前みたいに、西脇の話は聞かれたと思いますが、当時の国の IT 化推進事業の補助金が使えたのでそれを使って 700 万円付けた。補助金があったから付けられた。明石はそれができない。議会がやることは全部単費なので、それを市の方で一括で工事するのが大変だったので、年間 260 万円の多分 5 年リースだと思えますが、リースでやっているのだという話でしたので。それぐらい予算がかかるということになると、うちも単費でということになるとなかなか、通してくれるかどうかというのは分かりませんが。今は時代の流れでオープンにすべきだという思いは、議員さんも事務局も同じ思いなので、それはせつかくですから一生懸命ぶつけて。それでも今年もうちょっと待てという話になれば、年度末の予算を見て、皆さんの協力を得て、もうこれ以上委員会は、旅費が余っているけど視察に行かないからとか。そういう協力もしてもらって余らせてた中で。まあ言ってもカメラは脚立買ってパソコン買って転換するアンプ買ってというと 100 万円超ですから、100 万円の仕事をそこでして簡単な定点カメラだけでやるのか、700~800 万円の予算要求してそちらがつくまで待つのかということも、それはちょっと思案のしどころです。こちらがやっておいて 1、2 年後ぐらいには工事や

ってやるという話だったら、それでもやるのかという論議もしておいて欲しい。方向的にはこういうふうにやろうという皆さんの意識は固まっているし、僕らの意識もそこに行っているのですが、右から左に行かない。

江角委員長

そう整理してきたものではあるのだけど、一応打診をしてみるみたいな話で、議長団からも協力してもらってところまでもちろんなっていないと思うのだけど。その辺も含めて、森谷議員からも出ていますし、そのこのところだけは整理しておきたいという僕の思いもあるんですけど。

小川次長

今の段階で財政に行って、予算余らせるから何とかしてよというのは…なかなか難しいのだけど。ちらっと財政課長なんかには話はしてみます。もし3月までに予算を見て、100万円ぐらい余るようだったら、こういう定点の交換もしたいので買わせてくれと事前に言っておけば、何らかのリアクション、駄目だと言われるか、まあ無理だろうと言うか、その辺のニュアンスは分かると思います。話はしてみます。

江角委員長
三浦局長

それがあるから、あとはもう良いじゃないかと言われてもまた…。
言いかねません。

小川次長

それをやったんだから当分良かろうと言われてたら、これができなくなるからね。

牛尾昭委員

議会も相当節約してきているので、議員定数も削減しながら。そこは次長が言うように、正面から堂々と、要求すべきは要求した方が良いのではないですか。使わないで余らすからそれでというのは、それでは議会そのものが要らないのかなというところへ行きかねない、極論で。まずは正面から、予算を付けなさいよと言って、本当に駄目だったら仕方ないということもあるだろうけど。余らすから余らすからという話をあんまり出すのは好きではないんだがな。

小川次長

僕も好きではないです。

牛尾昭委員

だいぶカットしてきているんだから。言ってみなさいよもう1回。

江角委員長

打診をしてみるということで、この委員会のまとめの流れは言ったのだけど、正式な整理として。議運でも、どこで確認する。ここで確認したら良いのだと言われてたらそうかもしれないが、議運でも確認してもらって、議長団が議会をあげてもう1回強く言ってもらおうと。もう1回なのか初めてになるのか分かりませんが。それを1回やっておくべきではないかと。それで感想が悪いということになれば、森谷議員が出されたように、取りかかりやすいところからしっかりやる検討を更に加えていく方が良いのではないかなと。

牛尾昭委員

特別委員会でもまとめをされて、正副委員長名で今回の件について議長に要請をされて、議長はそれを受けて市長部局へ、こういう要請を受けて議長団としてもぜひお願いしたいと要請するのも1つの手ではないですかね。予算要求するのとは別に。特別委員会としてそういうことをされるという。そうすれば逃げにくいのではないかと思うのだけどどうでしょう。

江角委員長

もうサマーレビューは始まっているのかな。終わったのかな。

小川次長

サマーレビューはもう終わりました。

江角委員長

終わっているということはこの話は一応は行っているのだな。

三浦局長 要求とは別ですけどね。既に前回のサマーレビューでこの件については音響の関係と一緒にあげていますから。今回9月議会終わった段階で音声については工事が入りますので。ただ録画の関係だけは入ってませんので。

江角委員長 いま牛尾昭委員が言われた方向で、この委員会名で議長団にお願いするというまとめでよろしいでしょうか。

原田議長 皆さん方がそういう方向でしたら、私たちもその件は議長団として要請していくということはやぶさかではないと思いますし、むしろそうしておいた方が良くはないでしょうかね。

江角委員長 ではそういう方向にさせてもらうということでもよろしいですか。
(「はい」という声あり)

それを受けて具体的な取組みはどうするかということも出てきますので。そのようにしたいと思います。

他に、2枚目の新たな会派から出していただいた項目について気がついた点なり、ありましたらおうかがいしたいと思います。森谷委員。

森谷委員 全てに関係するかどうか分かりませんが、いま音声声と盛んに出ましたが、別に音声だけアップすることもできますので、動画と揃えなくても先に音声だけをアップすれば、ほぼ無料ですよ。いま既に音声を録っていますので。出来ることから進めるようにすれば良いかと思います。私も、できることから先に進められないかなと思って提案したことから。

江角委員長 先ほどのこの意見も大事にして扱っているつもりなのですが、先ほど言った正式な、議長団に出していただいて感触を見ていただき、ずっと待つというのではなく、その感触を受けて、森谷委員が更に追加提案した音声だけでもということもありましたので、それで議論させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。これも、予算のあるものないもの、かかるものかからないものもちろんあるでしょうが、また事務局に調査してもらっておいて。

他にございますか。ないようでしたら、今後の議論の進め方をどうしていくかということで、ご意見をいただきたいと思います。気になっているのは議会基本条例の関係でも、条文では「改選後速やかに」みたいな文脈になっていたのではないかと思いますので、ずっと放置してもいけませんし、こちらの検討項目も進めないといけないのですが、その辺の兼ね合いでどのように進めたら良いか思案していますので、ご意見があればお願いしたいと思います。なにぶん基本条例の見直しも検討も初めてなので。

小川次長 基本条例の検討は、最初議運でどうかと言ったら、議運の方から議会改革でやってくれと振られたものなので。おまけに先ほど委員長が言われたように改選後速やかにとあるので、できれば今回の分はこれである程度整理してもらって、次回ぐらいの時に先ほど言った、これは検討すべきかすべきでないかの意見も皆さんで検討した分を聞いた上で、最初に基本条例の一文ごとに検証をやっていただければ、非常に嬉しいなという気が事務局としてはしています。ですから次回やるまでに基本条例を皆さんにもう一度しっかり読んでもらって、この条文は今の情勢にあっているのか、これは本当にできているのかできていないのかというところを検証。で

きてなかったら、ではどうすべきなのか。中にはこちらの方で、賛否の公開みたいに、こちらで議論して賛否を公開すべきだとやって、条例改正まで持っていったこともあるので。反対にその条例改正というのは、議会の基本条例ですから議会でなければ改正も何もできないので、実際に検証してみてこれは情勢にあっているかあっていないかでいって、条例改正はすべきものはしなきゃいけないし、これで良いというのはそのまま置かなきゃいけないしというのがあるので、その辺を1回、本当に基本条例なので急いでやっていただきたいなという気はしています。

江角委員長

それでは、意見をいただいたように1つは今日事務局の意見もあつたりしたのですが、今後の検討のあり方を正副と事務局とでもう1回詰めて、また相談させていただくということで、これはしない・するというのを整理したものを今度出したいと思います。

小川次長

おまけに整理した部分も、前回から先送りとかではなくて全部の中でこれを今から検討するかしないかという分で一括して分けたいと思います。

江角委員長

それを出すことを今度したいと思います。それからいま言われた、条例の検証については委員さん持っておられると思いますので、一旦目を通していただいて、この辺は少し見直した方が良いのではないかと、あるいは補強した方が良いのではないかとというようなところを少し見ていただいて、チェックして持ち上げてもらって、そこで検討の条文を整理して、その内に検討に入っていくというような方向にさせてもらうということで良いでしょうか。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

いまの件と、議会改革白書の中で後で作る基本条例の方が優れているというか。最近の優れた事例、例えばかつて浜田市議会も載っているのだけど、最近の事例の中で優れている条文があれば一緒に示してもらえればと思うのですが。

江角委員長

はい。どうですか。

小川次長

調査します。

江角委員長

では次の委員会でその3点ぐらいを持ち寄って、方向付けを更にしたしたいと思いますので、よろしくお願ひします。2の全体を含めてご意見があれば最後にうかがっておきたいと思いますが。

3. その他

その他についてありませんか。ないようですので次の委員会の予定は。
(以下、協議)

では29日の9時半ということでよろしくお願ひします。では第8回目の特別委員会を終わりたいと思います。お疲れ様でした。

(閉議 14時 42分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会 委員長 江角 敏和

㊟